

せいげつ
第33回 信州伊那井月俳句大会
俳句作品を募集しています

漂泊の俳人、井上井月を偲ぶ俳句大会への投句募集中。
大会は9月8日(日)に伊那市生涯学習センター(いなっせ)で、開催します。
千両千両 井月さんまつりも9月7日(土)に開催。

1 募集締め切り

令和6年6月5日(水)

2 俳句募集要項

- ・テーマは自由、未発表の自作作品に限ります。
- ・3句1組で1,000円 何組でも投句できます。(高校生は無料。1人1組まで)
事務局まで現金を添えて持参するか、郵送にて応募。
伊那市公式ホームページからオンライン投句ができます。
郵送、オンライン投句の場合は定額小為替(宛名無記名)、現金書留、銀行振込みの
いずれかで投句料を納めてください。
- ・応募作品は句集へ掲載するほか、優秀作品を大会において表彰します。
- ・投句先は、〒396-8617 伊那市下新田 3050 番地
文化交流課内「信州伊那井月俳句大会」担当宛
- ・本大会には小中学校の部もありますが、学校を通じてのみ募集します。

3 俳句大会

期日 : 9月8日(日) 午後1時から(予定)
内容 : 事前投句の表彰式、アトラクション、当日句表彰 など
会場 : 伊那市生涯学習センター ニシザワいなっせホール(いなっせ6階)

4 その他

応募用紙・オンライン投句は伊那市公式ホームページをご覧ください。

5 添付資料 有 無

本件に関するお問い合わせ先

募集締切
6月5日(水)

漂泊の俳人・井月（せいげつ）

井月は、幕末の越後（現在の新潟県長岡市）に生まれ、1887年に没するまでの約30年間を信州の伊那谷を放浪しながら多くの名句を詠んだ漂泊の俳人です。



井月は無一物で欲がなく、俳諧一筋に生き、句を頼まれればその場で応じたといわれています。そんな井月の生き方や書の巧さは、現在でも多くの俳人らが注目しているとともに、井月同様に各地を放浪した種田山頭火が井月に傾倒し井月の墓を訪れたエピソードや、芥川龍之介が井月の書を「入神」と讃えた逸話があるほどです。

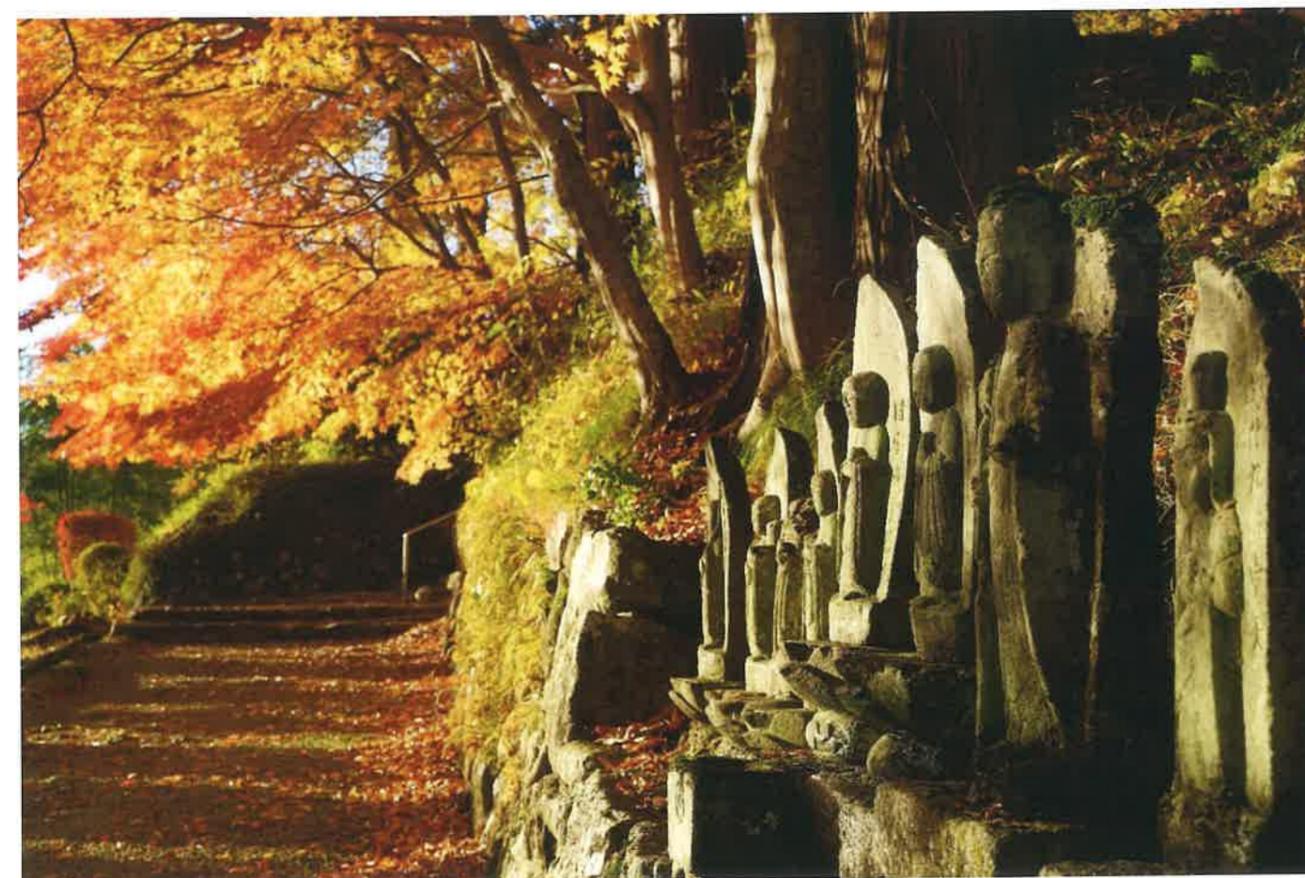
井月の命日「井月忌」が春の季語になりました。改訂のため令和4年2月以降に順次刊行される「新版角川俳句大歳時記」掲載されます。

井月に関するお問い合わせや情報提供は
一般社団法人井上井月顕彰会東京事務所（03-3341-6975平澤・岩田）まで

第33回 信州伊那

井月俳句大会

せいげつ



こうふくじ
香福寺の石仏と紅葉



伊那市は長野県の南部に位置し、南アルプスと中央アルプスの二つのアルプスに抱かれ市の中央部には天竜川と三峰川が流れています。「天下第一の桜」と称される高遠城址公園の桜や「ざざむし」「蜂の子」などの昆虫食が有名です。伊那市では多くの人に井月を知っていただくために、3月には井月忌の集い（東京）、9月には千両千両井月さんまつりと信州伊那俳句大会（伊那市内）を開催しています。

主催 信州伊那井月俳句大会実行委員会、伊那市
後援 (一社)井上井月顕彰会、長野県俳人協会、角川『俳句』、信濃毎日新聞社
中日新聞社、長野日報社、伊那市有線放送農業協同組合
信州・市民新聞グループ、みすゞ俳句会、上伊那教育会（順不同）

